

事務事業名	《H25新規》緊急雇用 リサイクルセンター管理・運搬委託事業		所属部局	市民部	単位番号	2013- 900076					
	□ 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	小笠原 良仁					
			所属担当	ごみ減量化推進担当	担当者名	藤巻 和彦					
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		20	快適生活環境の整備		01	一般	04	02	01	040	02
施策		33	生活環境の保全	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 平成25年4月に南部、同8月に北部資源回収センターが稼働し、ごみの減量化と資源の再利用を目的とした資源回収センターの管理運営を収集運搬業者に委託し、市民のごみ出しの利便性を高め、効率よく資源ごみを回収する。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				その他委託料	32,412						
						計	32,412				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 南部、北部資源回収センターの管理、廃棄物収集運搬について、平成25年度緊急雇用創出事業臨時特例基金事業市町村補助を活用 26年度活動予定 緊急雇用創出創出事業臨時特例基金事業市町村補助は廃止されるため、26年度は無し	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア市民</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ世帯</td><td>世帯</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア市民	人	イ世帯	世帯	ウ	
名称	単位											
ア市民	人											
イ世帯	世帯											
ウ												
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 市内から出るごみ	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア収集量</td><td>トン</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア収集量	トン	イ		ウ	
名称	単位											
ア収集量	トン											
イ												
ウ												
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	ごみの減量化 再利用(リサイクル)の意識	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア可燃・不燃ごみ排出量</td><td>トン</td></tr> <tr><td>イ資源ごみ排出量</td><td>トン</td></tr> <tr><td>ウ粗大ごみ排出量</td><td>トン</td></tr> </table>	名称	単位	ア可燃・不燃ごみ排出量	トン	イ資源ごみ排出量	トン	ウ粗大ごみ排出量	トン
名称	単位											
ア可燃・不燃ごみ排出量	トン											
イ資源ごみ排出量	トン											
ウ粗大ごみ排出量	トン											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	資源ごみの再利用(リサイクル)の意識の高揚	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>アリサイクル率</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	アリサイクル率	%	イ			
名称	単位											
アリサイクル率	%											
イ												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円			32,412					
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円								
		事業費計(A)	千円	0	0	32,412	0	0	0	0	0
人件費		正規職員従事人数	人			2					
		延べ業務時間	時間			18					
		人件費計(B)	千円	0	0	82	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	32,494	0	0	0	0	0
活動指標	ア	人			72,360.0						
	イ	世帯			24,787.0						
	ウ										
対象指標	ア	トン									
	イ										
	ウ										
成果指標	ア	トン									
	イ	トン									
	ウ	トン									
上位成果指標	ア	%									
	イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	失業者の救済として平成25年度緊急雇用創出特例基金事業を活用して、資源回収センターの管理・運搬委託を収集運搬業者に委託し、市民のごみ出しの利便性を高め、効率よく資源ごみの回収を行う。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成25年度で緊急雇用創出特例基金は廃止される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民のごみ出しの利便性が高められ、効率よく資源ごみを回収できるため、市民から喜ばれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成25年度新規事業のため、改革改善の取り組みはしていない。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	昼休みの時間を当番制にして、昼休み時間中でも資源ごみを受け入れている。

事務事業名	<H25新規>緊急雇用 リサイクルセンター管理・運搬委託事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	--------------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 ごみ減量化と資源ごみの再利用を目的にしているため、施策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 廃掃法により市民から出た一般廃棄物については、地方公共団体が処理しなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 ごみ減量化と資源ごみの再利用、市民のリサイクルへの意識の向上につながる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民のごみ出しの利便性が向上し、効率よく回収できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 資源回収センター運営事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 生活環境の美化意識の低下 地域での生活環境が悪くなる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の事業費で削減余地がない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最小限の人件費で削減余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者が市内全域であるため公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	資源回収センターを設置したことで、市民がごみを出す機会が増え、リサイクルに対する意識も向上した。また、資源回収センターの問い合わせが寄せられるので、今後も周知を徹底する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 資源回収センターの利便性を更に向上させ、市民にリサイクルの意識を向上させる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 資源回収センターの周知を徹底する。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					